

月ヶ瀬中学校区地域教育協議会

令和7年度 取組報告

中学校区
教育ビジョン

9年間の連続した学びを通した、自ら学ぼうとする意欲、故郷を誇りにする思い、未来を切り拓く力をもった子どもの育成

取組概要

「アルミ缶回収事業」は、「アルミ缶で車いすを」を合言葉に30年続いている事業で、これまで156台の車いすを寄贈しています。「地域行事参加支援事業」では、地域と学校が合同で主催する「月ヶ瀬体育祭」などの行事を企画・運営します。「ふるさと学習支援事業」では、尾山万歳や桃香野狂言などの地域に纏わる伝統芸能を継承しています。また、「梅」や「お茶」などの地域を支える産業については、こども園より段階的に学び、たくさんの体験活動を通して食文化や歴史を知り、ふるさと月ヶ瀬を誇りに思う気持ちを育てています。

協議会



事業名：地域との交流事業

●地域と学校が合同で主催する「月ヶ瀬体育祭」では、準備から大会の企画・運営、片づけまで、大人と児童生徒が協力しました。ローカルコップ大和高原と協働し、地域の魅力を広げる取組を考えました。

事業名：環境づくり事業

●地域の環境美化に従事されている「月ヶ瀬クリーン隊」のみなさまと協働した環境整美作業を行いました。

月ヶ瀬小中学校運営委員会



事業名：地域活性化プロジェクト

●烏梅を使って染める紅花染め体験が生地や紐を染め、8年生がその生地などを使って、卒業生が卒業式当日に胸に付けるコサージュや合格祈願のお守りを作りました。

月ヶ瀬こども園運営委員会



事業名：地域ふれあい事業

●地域の方々の協力をいただき、今年も茶摘み、陶芸体験で作った茶器でお茶会（水だし緑茶・ほうじ茶の飲み比べ）、茶工場の見学をして地域の特産物のお茶に親しみました。